

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却について

什器備品……定額法によっております。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金……職員の退職給付にそなえるため、当期末における退職給付債務（期末自己都合要支給額）に基づき、当期発生していると認められる金額を計上しております。

(3) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりとなっております。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	85,820,140	0	0	85,820,140
普通預金	179,860	0	0	179,860
小 計	86,000,000	0	0	86,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	1,000,000	6,000,000	1,000,000	6,000,000
安成弘氏記念事業積立資産	0	1,000,000	0	1,000,000
小 計	1,000,000	7,000,000	1,000,000	7,000,000
合 計	87,000,000	7,000,000	1,000,000	93,000,000

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりとなっております。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
投資有価証券	85,820,140	(0)	(85,820,140)	(0)
普通預金	179,860	(0)	(179,860)	(0)
小 計	86,000,000	(0)	(86,000,000)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	6,000,000	(0)	(0)	(6,000,000)
安成弘氏記念事業積立資産	1,000,000	(1,000,000)	(0)	(0)
小 計	7,000,000	(1,000,000)	(0)	(6,000,000)
合 計	93,000,000	1,000,000	86,000,000	6,000,000

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりとなっております。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什 器 備 品	3,700,440	3,455,790	244,650

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりとなっております。

(単位:円)

科 目	取得価額	時価	評価損益
国債	85,820,140	87,269,980	1,449,840
合 計	85,820,140	87,269,980	1,449,840